

CASE 01:

株式会社アキボウ

同社で取扱うEバイクの
前でスタッフと製品チェッ
クをする国内営業部の山
本雄彦さん

Special Feature

「大阪・関西万博」

いよいよ4月13日に開幕する大阪・関西万博。今号と次号は万博開催記念として、堺市内から技術の出展や協賛で参加する企業をご紹介します。

この企業にこの人あり!

12色刷の活版印刷を万博へ
みんなを一つにまとめる推進役

株式会社 羽車
炭谷 真希さん

SAKAIもの新発見

ダンボールが自立ストッカーになり
アートとしても楽しめる

株式会社 山本貞雄商店

CASE 02:

中川木材産業株式会社

同社ショールームで展示
品の製品説明をする中川
勝弘社長



スタッフの移動用に 未来感のある Eバイクで協賛



株式会社アキボウ
代表取締役社長 西木 一彦

昨年、創業80周年を迎えた株式会社アキボウ。スポーツ自転車の輸入卸販売だけでなく、自社独自の商品開発も行っています。大阪・関西万博では、折りたたみ式Eバイクで協賛。広い会場内のスタッフの移動をサポートします。

「ものづくり商社」として日本人に合った製品も自社開発

1944年の創業当初は、日本で製造された自転車の部品や完成車の輸出を行っていたという株式会社アキボウ。1970年代のオイルショックやプラザ合意による急激な円高を経て輸出事業が難しくなり、逆にそれまで部品の売り先であったヨーロッパの自転車メーカーから完成車を輸入するようになったといいます。1989年のことでした。

「当社は、すでに部品のサプライヤーとして海外のメーカーとのネットワークを構築していましたし、国内に目を向ければ



ちようどバブル経済の真っ只中で、ユーザーには経済的に余裕があり、また自転車の先進地であるヨーロッパへの憧れもありました。そこで時代の流れは輸出から輸入だということで、スポーツ自転車の輸入卸販売をスタートさせたのです。

その後、取扱ブランドをどんどん増やす一方、ヨーロッパとは体格も感性も違う日本人には、日本人に合ったサイズ感やデザインがあるのではないかと考え、『ものづくり商社』として、自社独自の製品開発を進めています」と西木一彦社長は語っています。

そのものづくりを担っているのは、大阪港にあるアキボウQCセンターです。製品の品質管理から万一の品質問題への対応、そして海外メーカーや新たな製品開発へのフィードバックまでの役割をここに集約させています。ユニークなのは、既成概念にとらわれない製品開発を進めるべく自転車業界の出身でない技術者も

積極的に採用していることです。そこで誕生した製品の一例には、昔に大流行したマウンテンバイクのモデルを最新の仕様でオマージュした製品があり、製造が間に合わないほどの大ヒット商品になっています。

協賛がスタイリッシュなEバイクへの関心につながれば

ところで同社は、大阪・関西万博にサプライヤーとして、未来社会ショーケース事業のスマートモビリティ万博で、スタッフの移動用モビリティを無償提供(貸与)しています。採用されたのは、折りたたみ式Eバイク「VICCI(ヴィッチ)」です。

博覧会協会への担当窓口を務めた国内営業部の山本雄彦さんは「初めて協会に声を掛けたのは2022年11月でした。会場内はもちろん、その周辺の移動にも自転車が必要なのではないかと何種類かの自転車提案させていただいたのですが、最終的に万博仕様に仕上げたVICCI 6台を無償貸与することになりました。VICCIを提案した理由は、身長や体格、性別を選ばず、誰もが安心して乗れる設計になっていること、万博にふさわしい未来感があることです。さらに折りたたむとテーブルの下にも収納できるコンパクトさと、Eバイクにしては軽量で持ち運びやすいことも採用された理由だろうと考えています。

スタッフの詳しい動線は聞いていませんが、来場者の目に全く触れないわけではなく、走行しているスタイリッシュなVICCI

CIを見て、関心を持っていただけることがあれば嬉しいですね」と話しています。

環境保全に貢献する
マイクロモビリティの普及へ

大阪・関西万博に協賛することへの思いを、西木社長に伺いました。

「当社は、大阪ヘルスケアパビリオンのリポーンチャレンジにも次世代ライフスタイルモビリティを展示する予定です(出展期間…9月2日〜8日)。それに向けては、各部署からのメンバーで横断的に組織した万博プロジェクトチームを立ち上げましたが、メンバー以外の社員からも意見を聞くなどして、全社で万博に対する関心を高めてきました。EXPO'70のように、今回の万博も今年で終わらず、長く語り継がれていくことでしょう。その大舞台に当社が関わらせていただけたのは光栄なことです。

万博のテーマにも、未来社会のデザインとありますが、これからの未来にEバイクはマイクロモビリティというカテゴリーの中でますます広がっていくでしょうし、進化しなければならぬと考えています。

また、昨今の異常気象を考えると環境保全はグローバルな課題です。当社の企業理念に『グローバルな舞台で人々の健康と地球環境保全に貢献する企業』を掲げていますが、マイクロモビリティをもっと活用することが地球環境の保全に貢献することをこれからも訴えていきたいと思っています」。

本社は、新製品の企画や営業・販促、事務業務などを担っている。

2023年に開設された、自転車のある暮らしを楽しむための情報サイト「SHIFTA」。



株式会社アキボウ

本社/堺市北区中百舌鳥町5-758 ☎072-258-4005

- 設立/1944年設立
- 資本金/6,650万円
- 従業員数/49名
- 事業内容/自転車とその部品・アクセサリーなどの輸入、国内卸販売、自動二輪の部品・付属品の輸出入、不動産業



㈱アキボウ
ホームページ



同社さかしたる
掲載ページ

経営のキモ

海外とのネットワークの強みを活かし、既成概念にとらわれずに異分野出身の技術者も参加し国内市場向けにカスタマイズするビジネスモデルを構築。ものづくり商社として自社独自の製品開発を進めていることが同社の強みです。

思いのある万博に

ミニステージ用の デッキ材で協賛

今ではよく見かける住宅用ウッドデッキや屋外の木造景観施設を他に先駆けて手がけてきた中川木材産業株式会社。大阪・関西万博では、サプライヤーとしてポップアップステージのデッキ材を提供したほか、施工にも携わっています。



中川木材産業株式会社
代表取締役 中川 勝弘

ウッドデッキや木造景観施設の
パイオニアとしての強みを発揮

1911年の創業時より、木材一筋に100年を超える歴史を重ねてきた中川木材産業株式会社。現在はゼネコンやハウスメーカーなどを得意先とする土木・仮設材部門をはじめ、丸太・造園部門やエクステリア部門、土木景観施設工事、一般の方向けのDIY商品も手がけています。同社の強みは、フィールドアスレチックや住宅用ウッドデッキ、屋外景観施設など、木材を活用した製品の企画・開発力で、これらの製品をいち早く手がけてきたパイオニアです。



同社2階には、得意とするウッドデッキのショールームがある。

「木材製品、木造施設というのは、すぐにノウハウが盗まれます。例えば、当社が独自に企画・設計したウッドデッキや、一般の方が自分で組み立てられるキットデッキも売れるとわかればすぐに模倣され、価格を下げた類似品が出てきたりしました。それでも見えないところで、経年による強度の低下を抑える特許工法を2つ有していることが当社の強みとなっています」と中川勝弘社長は語っています。

屋外の景観施設についても、有名テーマパークで同社の木材や施工技術が多く採用されています。

「この大型プロジェクトに、どこか一区画でも関わることができないかと、私が自ら飛び込み営業をしました。小さなデッキの工事を受注したのがきっかけで、その隣、その隣と工区が広がり、最終的にはかなりのエリアに携わることができました。現場で当社の提案や施工技術の高さが評価されたことだと思います。」

こうした実績が、今回の大阪・関西万博でも活かされることになりました。

人生の転機となったEXPO'70
博覧会には積極的に参加

「大阪・関西万博の開催が決まり、個人的にも寄付を行いました。会社としても何か関わらねえかと考えていました。ある設計事務所から見積りの話があり、そのやりとりの中でサプライヤーとして木材の提供を打診されました。私自身、人一倍万博への思い入れがあり、協

賛することにしました。」

その中川社長の万博への思い入れとは、1970年に開催された大阪万博(EXPO'70)の万博協会で、最年少職員として運営に携わった経験にありました。

「当時は言葉がでず、なかなか馴染めなかったなかで、インドネシアの皆さんと親しくなり言葉を教えてもらいました。万博期間中に簡単な会話ができるぐらいまで習得し、その後、商社に就職した時はインドネシアに赴任しました。今もその交流は続いています。私の人生の転機となった出来事でした」と語っています。

こうした中川社長の個人的な思いとは別に、中川木材産業もEXPO'70では杭などの仮設材の提供で関わっていました。その時に先代社長が「当社の仕事が表から見えないのは残念」と語ったことから、中川社長は「今度は人の目に付くところで」と多くの博覧会に積極的に携わってきました。なかでも国際花と緑の博覧会では、政府館のトラス材やメインデッキなどの企画・設計、施工を担当したほか、パビリオン内のイベント企画まで担当しています。そうした豊富な実績からか、大阪・関西万博でも、木材の協賛だけでなく有償で施工も任せられることになりました。

再利用を考えた独自の規格で
国産スギ材を採用

今回、大阪・関西万博で同社が手がけたのは、ミニイベントが行われるポップアップステージのデッキ部分です。

「かつて世界リゾート博や花博でも行ったことですが、開催期間の短い博覧会で使われる木材は、環境保全の観点から解体後の再利用を考えています。今回はその後利用を踏まえた当社独自の規格を採用しました。

また、国産材の使用を推奨しているなかで、今回、国産のスギ材を使用しています。通常は耐用年数が短いスギ材をデッキ材にすることはなく、業界では非常識なこととされますが、期間が限定的な万博だからこそ考えました。」

万博に参加することのメリットについては「直接的な効果については不明ですが、信頼性の向上にはつながると考えています」と中川社長。さらに今回の万博では、大屋根リングなど木材を使った建造物が象徴的に使われており、長く中川社長が訴えてきた木という素材がいかに環境への負荷が少なく、これからの時代にも大いに活用されるべきものであるかということ、多くの人が認識してくれるのではないかと期待を寄せています。



経営のキモ

ウッドデッキや景観施設のパイオニアとして、創業100年以上の歴史で培った独自技術と、特許工法を活かした高耐久な木材製品が同社の強みです。環境保全と再利用を重視し、万博をはじめ多くのプロジェクトで実績を残しています。

中川木材産業株式会社

本社/堺市美原区木材通1-11-13
☎072-361-5501

- 設立/1911年創業 1953年設立
- 資本金/2,640万円
- 従業員数/13名
- 事業内容/木製品製造・販売、土木用木材の販売

中川木材産業株式会社 ホームページ

同社さかせる掲載ページ

時代と共に変化する企業の経営課題に挑む堺市内の中小企業の皆さまを応援・サポートする当センターの各種支援事業やビジネス情報をご紹介します。

2025年大阪・関西万博

堺市内の万博参画予定企業

参画方法

リ リポーンチャレンジ	サ サプライヤー	外 外食パビリオン
パ バーチャルパビリオン	シ シグネチャーパビリオン	
営 営業参加 (グルメ)	W Waza Meet up Osaka	

株式会社アキボウ 堺市北区 卸売業 リ サ	株式会社総合水研究所 堺市堺区 サービス業 リ サ	株式会社羽車 堺市東区 製造業 リ
アットジャパンプランニング株式会社 堺市堺区 不動産業 パ	株式会社タマックス 堺市中区 製造業 リ	八田工業株式会社 堺市中区 製造業 リ
株式会社イトノット 堺市北区 情報通信業 リ	タマノイ酢株式会社 堺市堺区 製造業 外	菱田技研工業株式会社 堺市西区 製造業 リ
NT技研工業株式会社 堺市北区 製造業 リ	ディフロンティア株式会社 堺市西区 製造業 リ	富士高周波工業株式会社 堺市堺区 製造業 リ
角野晒染株式会社 堺市西区 製造業 W	株式会社デリコジャパン 堺市堺区 卸売業 リ	株式会社三上 堺市堺区 製造業 W
くら寿司株式会社 堺市中区 飲食業 シ 営	東洋水産機械株式会社 堺市中区 製造業 リ	モアコスメティックス株式会社 堺市美原区 製造業 リ サ
株式会社古賀機械製作所 堺市美原区 製造業 リ	中川木材産業株式会社 堺市美原区 製造業 サ	株式会社山本真雄商店 堺市北区 卸・小売業 パ
境川工業株式会社 堺市美原区 製造業 リ	株式会社中村超硬 堺市西区 製造業 リ	株式会社陸水 堺市堺区 漁業 リ
株式会社實光 堺市北区 製造業 シ	日新シール工業株式会社 堺市美原区 製造業 リ	リグナイト株式会社 堺市西区 製造業 リ
株式会社新川製作所 堺市中区 製造業 リ	ハイテン工業株式会社 堺市美原区 製造業 リ	株式会社をくだ屋技研 堺市美原区 製造業 サ



堺市産業振興センターは、万博参画予定企業の取材記事を制作しております。右のQRコードからご覧ください。
掲載情報は2025年3月1日現在、(公財)堺市産業振興センターで把握しているものです



大阪・関西万博
2025
×
SAKAI-IPC

堺市産業振興センターでは、大阪・関西万博に参画する堺市の企業を取材し、その魅力や取り組みをまとめた記事を公開しました。堺市のものづくりの力や最先端の技術、未来への挑戦をぜひご覧ください。取材の内容は以下のURLまたはQRコードからご覧いただけます。

https://www.sakai-ipc.jp/bizsupport/industrialsupport/expo2025_sakai_company.html



※掲載情報は令和7年2月1日現在、(公財)堺市産業振興センターで把握しているものです。

▲トップページ

堺市の大阪・関西万博参画予定企業一覧のポスターを作成

大阪・関西万博に向け、堺市の企業が世界に挑みます。これまで培ってきた技術やノウハウを生かし、万博の舞台で新たな価値を創造する企業の一覧を、一枚のポスターにまとめました。

※ポスターは堺市産業振興センター1階に展示しています。(展示期間 ~10/13(月)万博会期終了まで)

※掲載情報は令和7年2月1日現在、(公財)堺市産業振興センターで把握しているものです。



令和7年度 堺市の中小企業者向け支援事業のご紹介

堺市地域産業課

○堺市新事業チャレンジ支援補助金

市内中小企業の新たな製品・技術・サービスの開発にチャレンジする費用を補助します。

■補助内容

期間…1年 補助率…1/2以内 限度額…300万円

■募集期間

2025年5月1日～2025年6月30日(予定)

○堺市中小企業デジタル化促進補助金

デジタルツールを活用し、生産性向上に取り組む費用を補助します。

■補助内容

補助率…1/2以内 限度額…100万円

■申請期間

2025年5月1日～2025年8月29日(予定)

○堺市中小企業DXリスクリング補助金

DXの取組を実践することのできる社内人材を育成するため、社員に対して実施する研修等に要する費用を補助します。

■補助内容

補助率…1/2以内 限度額…20万円(※補助金下限額2万円)

■申請期間

2025年5月1日～2026年1月30日(予定)

※先着順(予算がなくなり次第終了)

○堺DX推進ラボポータルサイト

堺DX推進ラボポータルサイトは堺DX推進ラボの参画機関が実施する、DXやデジタル化に役立つセミナー等のイベント情報や補助金情報などのお得情報が集まるポータルサイトです。

DXやデジタル化に関するお得情報の収集にぜひご覧ください。
URL: <https://local-iot-lab.ipa.go.jp/lab?k=sakai-city-iot>



●問合せ先

堺市地域産業課
TEL: 072-228-7534 FAX: 072-228-8816

堺市イノベーション投資促進室

○市税優遇制度(堺市イノベーション投資促進条例)

市内工業適地(工業専用地域、工業地域、準工業地域)での工場や研究所等の新増築、建替え等や、都市拠点(都心地域、中百舌鳥地域、泉ヶ丘地域)での本社等の事業所整備について、一定条件を満たす場合に市税(固定資産税(家屋・償却資産)、都市計画税(家屋)、事業所税(資産割))を最長5年間軽減します。

※制度の内容・要件等の詳細はお問い合わせください。

○中小企業経営強化法に基づく設備投資に関する市税優遇制度

生産性向上や賃上げに資する中小企業の設備投資について、本市の認定を受け、一定の要件を満たす場合、固定資産税の特例措置を受けられます。

※制度の内容・要件等の詳細はお問い合わせください。

○先端設備等導入支援補助金

エネルギー価格高騰の影響や人手不足等に対応するため、省力化・合理化等を図ろうとする前向きな投資を行う市内中小企業者を支援することを目的に、労働生産性を向上させる先端設備等の導入に係る経費を補助します。

本市より「先端設備等導入計画」の認定を受けると同補助金の対象となります。

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

○堺市グリーンイノベーション投資促進補助金

脱炭素社会の実現に貢献する革新的技術に関する研究開発拠点や生産拠点の整備、CO₂の大幅削減や再利用に係る設備投資について、費用の一部を補助します。(家屋・償却資産の取得費の合計が10億円以上で、大幅な温室効果ガス削減に貢献することが見込まれるもの。)

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

○堺市企業成長促進補助金

企業の本社や研究開発施設の整備、市内製造業が成長産業分野に挑戦する投資について、費用の一部を補助します。

※補助要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

○都市拠点の業務集積を促進する補助金

都市拠点の特性に応じた事業所の立地を促進するため、都心地域は業務系機能、中百舌鳥地域はスタートアップやICT関連企業、泉ヶ丘地域は次世代ヘルスケア関連企業の各オフィス開設に係る賃料等を補助します。中百舌鳥地域においては、スモールオフィス・フレキシブルオフィスの整備にかかる費用も補助対象となります。

※対象要件・補助内容等の詳細はお問い合わせください。

●問合せ先

堺市イノベーション投資促進室
TEL: 072-228-7629 FAX: 072-228-8816

堺市環境エネルギー課

○事業所向け省エネ設備等導入支援事業補助金

対象の省エネ設備等を導入する際、導入費用の一部を支援します。※制度の内容・要件等の詳細はお問い合わせください。

■補助内容

補助率…補助対象経費の1/3以内 限度額…最大90万円

※限度額は省エネ効果により異なる。

■申請期間

2025年4月1日～2025年12月19日(予定)

※先着順(予算がなくなり次第終了)

■補助対象者

市税を滞納していない市内事業者もしくはリース事業者等

■補助対象設備

①産業用モータ(コンプレッサ、ポンプ、生産設備のモータ部分など) ②変圧器 ③高性能ボイラ ④業務用給湯器 ⑤高効率クーラーユニット ⑥冷凍冷蔵設備 ⑦冷凍機 ⑧産業ヒートポンプ ⑨低炭素工業炉 ⑩太陽光発電設備

※LED照明・空調設備は補助対象外。

○空気圧縮機・省エネアドバイザー派遣事業(無料)

コンプレッサメーカーの技術者がお使いのコンプレッサを計測診断し、追加投資を必要としない運用改善や設備更新による省エネ効果を試算します。また、希望に応じて吐出圧力の調節などチューニングを実施します。

■問合せ先

堺市環境エネルギー課 TEL: 072-228-7548 FAX: 072-228-7063

堺市雇用推進課

○キャリアナビさかい

堺市内事業者の人材確保を支援します。

■対象

堺市内に事業所がある事業者

■内容

・企業相談…人材の採用・育成のことなら何でも相談できます
・求人受付…フルタイム・パート問わず、専用求人を受付。本事業を利用する求職者へ貴社の求人情報を提供します
・職業紹介…キャリアナビ専用求人へ応募したい求職者と直接職業紹介を行います



●問合せ先

キャリアナビさかい TEL: 072-254-7060

○堺市女性雇用促進等職場環境整備支援事業補助金

労働者が使う女性用施設(トイレ・更衣室等)の整備に係る費用の一部を補助します。

■補助内容

補助率…1/2以内 限度額…50万円

■募集期間

2025年4月1日～2026年2月28日(予定。予算額に達し次第終了)

○堺市障害者雇用貢献企業認定制度

市内中小企業における障害者雇用を促進するため、障害者雇用に積極的に取り組む企業を認定し、企業情報の発信や奨励金の交付などで支援します。認定には審査があります。

■対象者

市内に本社のある従業員300人以下の法人又は個人で、障害者の法定雇用率を満たし本市が別に定める条件に該当する企業

■支援措置

①堺市ホームページ等を活用した企業情報の発信 ②奨励金の交付(要件を満たした企業のみ) ③堺市中小企業活力強化資金融資(有担保)の金利優遇 ④堺市の建物清掃業務等の総合評価落札方式における加点 ⑤障害者雇用管理に係る情報提供

■申請期間

2025年6月1日～2025年7月31日(予定)

●問合せ先(堺市女性雇用促進等職場環境整備支援事業補助金)

堺市雇用推進課
堺市雇用推進課
TEL: 072-228-7404 FAX: 072-228-8816



令和7年度 中小企業のための支援制度説明会開催

日時: 令和7年4月24日(木) 13時30分から17時まで

会場: 堺市産業振興センター4階セミナー室4、オンライン(ZOOM)でも同時開催

対象: 堺市内の中小企業

定員: 会場: 先着70名 ZOOM: 先着70名(1社あたり1アカウントでの参加)

参加費: 無料

問合せ: 堺市産業振興センター 経営支援課
TEL: 072-255-6700

公益財団法人堺市産業振興センターの 大阪・関西万博出展予定イベント

①天下の台所・大阪の食、食文化魅力紹介ウィーク

参加日時: 4月22日(火)(14:00~16:00)

会場: 大阪ヘルスケアパビリオン「ミライの食と文化ゾーン」デモキッチンエリア

内容: 伝統工芸士による堺打刃物デモンストレーション

イベントURL: <https://2025osaka-pavilion.jp/culture-and-foods-2/>



②JAPAN EXPO Paris in Osaka 2025

出展日時: 4月26日(土)~4月27日(日)(9:00~21:00)

会場: EXPOメッセ

出展内容: 堺の伝統産業品(注染和晒、線香、鯉のぼり等)の展示・販売

イベントURL: <https://www.jepo2025.jp/>



③大阪ウィーク~地域の魅力発見ツアー「大阪43市町村の見どころ」~

出展日時: 5月9日(金)~5月11日(日)

会場: EXPOメッセ

出展内容: 堺の伝統産業品(包丁・注染和晒・線香・昆布・緞通・鯉のぼり)の展示

イベントURL: <https://www.expo-osaka2025.com/osakaweek/>



④TEAM EXPO パビリオン~テーマウィーク「健康とウェルビーイング」~

出展日時: 6月23日(月)(10:00~21:00)

会場: フューチャーライフビレッジ

出展内容: ①さかい健康医療ものづくり研究会(堺市産業振興センターの医工連携事業)活動内容の紹介動画上映

②TEAM EXPOパビリオン内ステージで、同研究会の活動および会員企業2社(太陽パーツ株式会社、株式会社ロッケン)の医工連携の取組を発表

イベントURL: <https://www.expo2025.or.jp/future-index/future-life/flv/>



+伝産出店予定→レギュラーイベント(夏・秋) ※内容未定

株式会社 羽車

代表者名/代表取締役 杉浦 正樹
本社/堺市東区八下町3-50
TEL/072-251-2211

- 設立/1918年創業 1936年設立
- 資本金/5,200万円
- 従業員数/160名
- 事業内容/封筒・紙製品の企画・製造・販売、インターネットによる通信販売



株式会社 羽車
ホームページ



同社さかしの
掲載ページ



2024年2月に完成した
同社1階にあるショールームでは、商品展示のほか商談スペースも設置。



12色刷りを実現した約60年前に製造されたドイツのハイデルベルグ社製の活版印刷機。美しい仕上がりは社員の高いチェックがあってこそ。



炭谷 真希マネージャー▶

12色刷の活版印刷を万博へ みんなを一つにまとめる推進役

「株式会社 羽車」の人材戦略

一緒に働きたいかを評価 それが会社を強くする

当社では、一般的な「業績評価」はほとんど行いません。その代わりに、「一緒に働きたいと思える人柄」を大切にしています。10年ほど前から、社員同士で「こういう人と働きたい」という10の価値観を決め、それを基準に評価する仕組みを取り入れています。人生の中で仕事をしている時間は長い。その時間を、互いに尊敬し合い、気持ちよく働ける仲間と過ごせる会社は強いと考えています。

EXPO'70が、人を喜ばせることがこれほど面白いことなのに気づいた原体験だったと語る杉浦社長。今回の万博出展も「一番の

「とりあえず一歩踏み出す」の精神で 前例のない12色刷りを実現

「とりあえず一歩踏み出す」の精神で前例のない12色刷りを実現。同社の企業文化や価値観をよく理解していると杉浦社長から評価されている炭谷マネージャーですが、それもそのはず、入社と同時に社長直轄の部署で、杉浦社長から直接、同社のモノづくりの考え方を学んだそう、「その考え方を社員みんなで実現させようとしているところも当社の良いところですよ」と語っています。

「求人があっても応募しませんでした。本当はデザイナーが欲しかったようなのですが、デザインはできなくてもコンセプトや企画づくりで役に立てればと考えたのです」。同社の企業文化や価値観をよく理解していると杉浦社長から評価されている炭谷マネージャーですが、それもそのはず、入社と同時に社長直轄の部署で、杉浦社長から直接、同社のモノづくりの考え方を学んだそう、「その考え方を社員みんなで実現させようとしているところも当社の良いところですよ」と語っています。

いた頃で、こうした自分の価値観と合うモノづくりをしている企業で働きたいと考えていたら、偶然



株式会社 羽車
代表取締役 杉浦 正樹さん

「炭谷は社員からの人望も厚い」(杉浦社長)という炭谷マネージャーが心にかけているのは、「何かを始める時、悩んでいてもゼロのままなので、とりあえず一歩を踏み出します」。同社の原動力を担う一人です。

目的は、社員に喜んでもらいたかったから。そして、最新技術が多く出展される万博で、逆にアナログの温かさを感じさせる技術を訴求したいと思いました」と語っています。そこで、炭谷マネージャーたちが企画したのが、「活版印刷の12色刷りアート作品」でした。これまでは多くても2〜3色だったという活版印刷の12色刷り。苦労した点について、炭谷マネージャーは「まず、活版印刷ならではの質感、つまり凹凸を美しく表現する紙の選定に苦労しました。次に12版も重ねると、紙がわずかに伸びて版ズレを起こすので、それを合わせるのに製造スタッフはとても苦労したと思います。テストに3〜4ヶ月はかかりました」と語っています。モチーフはだるまや鶴、獅子舞といった日本の伝統的な縁起物で、全72種類。活版印刷の凹凸感が紙のやわらかさや独特の風合いを表現しています。

紙を使った温かみのあるコミュニケーションの創出を目指して1918年に、「杉浦封筒工業所」として封筒やのし袋、荷札などの製造で創業してから百年余り。今日では、「お客様のブランド力を高め、その良さを世の中に伝えるお手伝い」を事業目的の一つとして、企業向けには事務用封筒をはじめ、ブランド構築の一端を担うパッケージや冊子といった紙製品の企画・デザインから製造までを行っています。また、個人向けにもグリーティングカードなどを展開する「ウイングド・ウィール」を1999年に設立、多くのファンを獲得しています(現在はハグルマストアで案内中)。

同社では、大阪・関西万博の大阪(ハルスケ)パビリオンに5月27日から6月2日まで「活版印刷による12色刷りのアート作品」を出展することになっており、そのプロジェクターリーダーが、事業推進室の炭谷真希マネージャーです。杉浦正樹社長も「今回の万博や新規事業の立ち上げなど何か大きな一歩を踏み出すときには、炭谷に任せることが多いですね」と大きな信頼を寄せています。

小さい頃からメモ帳などの紙ものが大好きだったという炭谷マネージャーは、卒業後に就職した文具メーカーを経て、2006年に羽車に入社しました。そのきっかけは、「ウイングド・ウィール」に出会ったことだと言います。

「とても良い製品を作っている会社があるんだな」と思いました。ちょうど転職を考えていた頃で、こうした自分の価値観と合うモノづくりをしている企業で働きたいと考えていたら、偶然

ダンボールが
自立ストッカーになり
アートとしても楽しめる



堺のこだわりのモノづくり
SAKAI
もの
新発見

創業79年の株式会社山本貞雄商店は、1万点以上の業務用梱包資材を取り扱う企業です。同社の運営サイト「荷造り.com」では、コストパフォーマンスとお客様のニーズに合わせた最適な梱包提案力に定評があります。

同社が注力する新商品「スマポイ®」(特許出願中)は、「捨てるモノをスマートに」をコンセプトに、従来「捨てられるもの」とされていたダンボールに新たな2つの機能を追加。出荷用としてだけでなく、不要なダンボールを簡単にまとめる自立ストッカー機能や、片手で持ち運べる手穴付き設計が特徴です。

さらに、2025年大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に合わせ、葛飾北斎などの名画を特殊印刷したアートな「スマポイ®」を展開。捨てるモノに新たな命を吹き込み、環境と芸術を融合しています。

「捨てられるものに芸術性を加え、2050年の未来社会をより豊かにしたい」という挑戦は、地域の事業者からも注目を集めています。



▲バーチャル大阪パビリオン出展
ショート動画



株式会社山本貞雄商店

代表者名/代表取締役 山本 一博
本社/堺市北区百舌鳥梅町1-13-5
TEL/072-259-9272

- 設立/1946年設立
- 資本金/1,000万円
- 事業内容/
業務用梱包資材販売業



2025年3月末～6月末頃
まで堺市産業振興センター
1F「さかいモノてらす」で
展示予定



株式会社山本貞雄商店
ホームページ



同社さかいる
掲載ページ

中小企業を
全力応援



公益財団法人

堺市産業振興センター

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL:072-255-3311(代) FAX:072-255-5200

